

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ開設30周年記念シンポジウム



タンチョウ

参加
無料

事前
申込制

保護のこれから



かつて絶滅に瀕したタンチョウは、
今や1,800羽まで回復し、
道央圏にも繁殖地を拡げつつあります。
大きな転換点に立つ、
これからのタンチョウ保護について
一緒に考えてみませんか？

2018年

日時

1/21 [日]

13:30 ~ 16:00 (13:00 開場)

会場

札幌国際ビル8階 国際ホール

定員

200名 (先着順)

●申込み 2018年1月14日(日)までに
参加される方全員の氏名をお伝えください。

(公財)日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ
TEL: 0154-64-2620 E-mail: tancho_sanc@wbsj.org

● 基調講演

札幌周辺にタンチョウがいた頃の話
~古文書から探るタンチョウと人との関係史~
久井 貴世 [北海道大学大学院文学研究科 専門研究員]

● タンチョウと コウノトリの話 柳生 博

[俳優・日本野鳥の会 会長]



● パネルディスカッション

主催：(公財)日本野鳥の会

後援：北海道新聞社 (公財)北海道新聞野生生物基金

詳細は裏面を
ご覧ください。👉



公益財団法人
日本野鳥の会
Wild Bird Society of Japan

タンチョウ保護のこれから

日時

2018年

1/21 [日]

13:30～16:00
(13:00 開場)

定員

200名 (先着順)

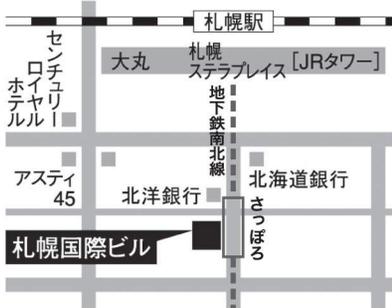
参加
無料

事前
申込制

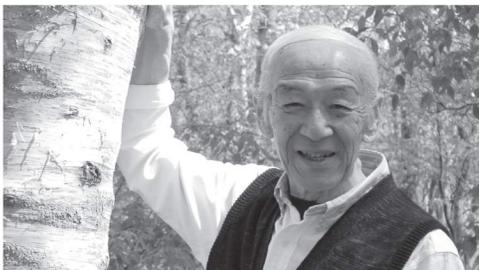
会場

札幌国際ビル 8階 国際ホール

札幌市中央区北4条西4丁目1



地下鉄「さっぽろ駅」8番出口直結



柳生 博 やぎゅう ひろし

俳優、(公財)日本野鳥の会会長、
コウノトリファンクラブ会長

1961年に東映映画「あれが港の灯だ」でデビュー、俳優として様々な分野で活動する一方、山梨県八ヶ岳南麓にギャラリー&レストラン「八ヶ岳倶楽部」を運営し、雑木林の再生に取り組んでいる。



久井 貴世 ひさい かつよ

北海道大学大学院
文学研究科 専門研究員

「タンチョウと人との関係史」という研究テーマで、江戸時代から近現代のツルと人との歴史的・文化的な関わり方の解明に取り組んでいる。

プログラム

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ30年の報告

基調講演

札幌周辺にタンチョウがいた頃の話

～古文書から探るタンチョウと人との関係史～

久井 貴世 (北海道大学大学院文学研究科 専門研究員)

タンチョウとコウノトリの話

柳生 博 (日本野鳥の会 会長)

パネルディスカッション

コーディネーター：小川 巖 (エコ・ネットワーク)

パネラー：正富 宏之 (専修大学北海道短期大学名誉教授)

黒沢 信道 (環境省タンチョウ保護増殖検討員)

小山内恵子 (ネイチャー研究会inむかわ)

加藤 幸一 (舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会)

原田 修 (鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ)

(公財)日本野鳥の会

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

〒085-1205 北海道阿寒郡鶴居村字中雪裡南

休館日：毎週火・水曜日、12/26～12/30

TEL: 0154-64-2620 [受付時間：9:00～17:00]

E-mail: tancho_sanc@wbsj.org

問合わせ
申込み

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

1987年、全国からの寄付と地元で長年タンチョウ保護に貢献された故・伊藤良孝氏のご理解とご協力により、北海道鶴居村に日本野鳥の会が設立。レンジャーが常駐し、タンチョウとその生息地の保護活動を行う。

